

近年の日本の農業に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 農業就業人口は減少しているが、法人経営体に雇用される新規就農者は若い世代が多いことから、農業就業人口全体に占める65歳以上の者の割合は約3割になった。
- イ. 効率的な農業経営のために農地の集積・集約化が進められており、この取組の障害となっていた農地中間管理機構（農地バンク）は廃止された。
- ウ. 地域ごとに農業産出額を米、野菜、畜産、その他に分けてその割合を見ると、北海道地方や九州・沖縄地方は畜産の割合が最も大きく、北陸地方は米の割合が最も大きい。
- エ. シカやイノシシなど野生鳥獣による農作物の被害は農山村に深刻な影響を及ぼしている。政府は、その対策として捕獲された動物について、ジビエとして有効活用するための取組を進めている。
- オ. 世界的に日本食が人気となっているが、日本の農産物は価格競争力で劣るために、農産物の輸出額は減少傾向にある。特に日本酒などの加工食品やいちご、りんごなどの青果物の減少が著しい。

- 1. ア, イ
- 2. ア, オ
- 3. イ, エ
- 4. ウ, エ
- 5. ウ, オ